

スポーツ文化の風を発信する

学報 NITTAIDAI

第90回 箱根駅伝ガイドブック

36

2014.New Year



連覇へ樺をっなげ
箱根駅伝を応援しよう!

第90回 箱根駅伝 (東京箱根間往復 大学駅伝競走) 応援ガイド



復路 (109.9Km)
芦ノ湖
芦ノ湖 折り返し地点

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
大平台 (ヘアピンカーブ付近)	11:20	12:47	7:40	8:39
宮ノ下 (富士屋ホテル前)	11:25	12:54	7:30	8:33
小涌園 (ホテル小涌園前)	11:30	13:03	7:25	8:26
恵明学園 (恵明学園前)	11:35	13:06	7:20	8:22
芦之湯 (フラワーセンター付近)	11:45	13:15	7:10	8:10
芦ノ湖 (応援団ポイント)	12:05	13:32	7:00	8:02

スピード感ある山下り。傾斜のきつい下り坂とラスト3kmとのペース配分が鍵を握る。
【日体大の記録】
第82回 (2006年) 鶴留雄太 59分10秒

6区 : 20.8km

小田原中継所

5区 : 23.4km

約13kmの曲がりくねった山道はコース最大の難所。高低差は800m以上になる。
【日体大の記録】
第85回 (2009年) 竹下正人 1時間20分02秒

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
二宮 (押切橋付近)	10:45	11:46	8:35	9:34
小田原 (山王橋付近)	11:10	12:09	8:15	9:12
小田原中継所	11:15	12:14	8:00	8:58



温度差の大きい区間。気温が上がり出す時間帯であり、体調のコントロールが重要。
【日体大の記録】
第83回 (2007年) 鷲見知彦 1時間4分38秒

7区 : 21.3km

平塚中継所

全区間のなかで最短のコース。各大学ともスピードランナーを配置する傾向がある。
【日体大の記録】
第87回 (2011年) 本田匠 55分57秒

4区 : 18.5km

平坦だが、強い陽射しや強い風などが選手を苦しめる。遊行寺付近の上り坂が難所。
【日体大の記録】
第77回 (2001年) 解良健二 1時間5分38秒

8区 : 21.5km

正面に富士山、左手に相模湾を望む絶景のコース。海風の影響を受けやすい。
【日体大の記録】
第86回 (2010年) 野口拓也 1時間2分46秒

3区 : 21.5km

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
藤沢 (松下冷機付近)	9:40	10:37	9:45	10:45
茅ヶ崎 (サザンビーチがさき入口付近)	9:55	10:56	9:25	10:26
平塚中継所	10:20	11:17	9:00	10:03



シード校			
1	日本体育大学	66年連続	66回目
2	東洋大学	12年連続	72回目
3	駒澤大学	48年連続	48回目
4	帝京大学	7年連続	15回目
5	早稲田大学	38年連続	83回目
6	順天堂大学	3年連続	55回目
7	明治大学	6年連続	56回目
8	青山学院大学	6年連続	19回目
9	法政大学	2年連続	75回目
10	中央学院大学	12年連続	15回目
予選会からの出場校			
11	東京農業大学	7年連続	69回目
12	山梨学院大学	28年連続	28回目
13	東海大学	2年ぶり	41回目
14	神奈川大学	4年連続	45回目
15	國學院大学	4年連続	8回目
16	大東文化大学	2年連続	45回目
17	専修大学	3年ぶり	68回目
18	日本大学	2年連続	84回目
19	拓殖大学	2年ぶり	35回目
20	城西大学	11年連続	11回目
21	上武大学	6年連続	6回目
22	中央大学	85年連続	88回目
23	国士舘大学	2年ぶり	44回目

戸塚中継所

2区 : 23.2km

通称「花の2区」。長い上り坂が続き、エースの見ごたえのあるレースが展開される。
【日体大の記録】
第59回 (1983年) 大塚正美 1時間7分43秒 歴代6位

応援POINTには日体大STAFFがいます。みんなで応援しよう!!
(詳しい地図は本学HPをご確認下さい。)

**大手町
スタート・ゴール**

10区 : 21.3km

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
大手町 (応援団ポイント)	7:00	8:00	10:00	13:32
大手町 (ゴール付近 三越新館前)			10:00	13:32

馬場先門からは京橋、日本橋を経由してゴールへ。10人の思いを繋いだ櫓が走る。
【日体大の記録】
第81回 (2005年) 山田紘之 1時間9分5秒 歴代2位

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
新八ツ山橋	7:25	8:23	12:00	13:02
田町 (勤労福祉会館前)			12:10	13:12
蒲田 (京急蒲田駅前)	7:45	8:45	11:35	12:38

全般的に下り主体のコースのためペース配分が鍵。生麦駅を過ぎるとほぼ一直線。
【日体大の記録】
第84回 (2008年) 野口功太 1時間9分47秒

9区 : 23.2km

鶴見中継所

1区 : 21.4km

全般的に平坦で走りやすいが、レースの流れを大きく左右する重要なコース。
【日体大の記録】
第88回 (2012年) 服部翔大 1時間2分26秒 1979年以降史上7番目

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
鶴見中継所	8:00	9:03	11:20	12:20

	往路		復路	
	集合時間	通過予定時間	集合時間	通過予定時間
横浜駅東口 (横浜そごう前)	8:30	9:28	10:50	11:53
権太坂三丁目 (狩場町歩道橋付近)	8:45	9:42	10:45	11:45
戸塚中継所	9:10	10:11	10:10	11:11



集え、オール日体大! 櫓を繋ぐ選手たちを熱く応援しよう!

日体大と箱根駅伝

日体大が箱根駅伝に参加したのは1949年の第25回。それから連続出場し、66年目となる。第45回から第49回まで5連覇を達成、合計10回の優勝経験を持っている。バルセロナオリンピック、アトランタオリンピックに出場した谷口浩美は、第57回から第59回まで箱根駅伝に出場。3年連続6区を走り、第58回・第59回では当時の区間新記録を打ち立てた。また、第56回から第59回の4年連続した大塚正美は8区、5区、2区（2年連続）を走り、そのすべてで当時の区間賞を取った。このほか数々の名選手を生み出している。

日体大最高記録

	大会	記録
総合成績	第81回 2005年 217.9km	11時間07分23秒 往路：5時間35分41秒 復路：5時間31分42秒
往路成績	第85回 2009年 108.0km	5時間35分07秒
復路成績	第81回 2005年 109.9km	5時間31分42秒

区間記録 ※学年は当時（都道府県）は出身地

1区（大手町―鶴見） 21.4km 第88回 服部翔大（2年）／埼玉栄（埼玉）	1時間02分26秒
2区（鶴見―戸塚） 23.2km 第59回 大塚正美（4年）／水戸工業（茨城）	1時間07分34秒
3区（戸塚―平塚） 21.5km 第86回 野口拓也（3年）／東北（兵庫）	1時間02分46秒
4区（平塚―小田原） 18.5km 第87回 本田 匠（1年）／九州学院（熊本）	55分57秒
5区（小田原―箱根） 23.4km 第85回 竹下正人（4年）／西京（山口）	1時間20分02秒
6区（箱根―小田原） 20.8km 第82回 末吉 敏（4年）／鹿児島実業（鹿児島）	59分49秒
7区（小田原―平塚） 21.3km 第83回 鷲見知彦（4年）／豊川工業（愛知）	1時間04分38秒
8区（平塚―戸塚） 21.5km 第77回 解良健二（2年）／報徳学園（兵庫）	1時間05分38秒
9区（戸塚―鶴見） 23.2km 第84回 野口功太（3年）／豊川工業（愛知）	1時間09分47秒
10区（鶴見―大手町） 23.1km 第81回 山田紘之（4年）／豊川工業（愛知）	1時間09分05秒

日体大 第80回以降成績

大会	年	順位	記録
第80回	2004年	9位	11時間19分18秒 往路4位：5時間39分00秒 復路10位：5時間40分18秒
第81回	2005年	2位	11時間07分23秒 往路5位：5時間35分41秒 復路3位：5時間31分42秒
第82回	2006年	9位	11時間15分59秒 往路14位：5時間41分13秒 復路3位：5時間34分46秒
第83回	2007年	4位	11時間16分44秒 往路3位：5時間36分33秒 復路9位：5時間40分11秒
第84回	2008年	12位	11時間20分30秒 往路14位：5時間41分50秒 復路9位：5時間38分40秒
第85回	2009年	3位	11時間13分05秒 往路3位：5時間35分07秒 復路4位：5時間37分58秒
第86回	2010年	9位	11時間21分45秒 往路3位：5時間36分15秒 復路17位：5時間45分30秒
第87回	2011年	10位	11時間13分19秒 往路10位：5時間36分19秒 復路10位：5時間37分00秒
第88回	2012年	19位	11時間22分26秒 往路11位：5時間36分48秒 復路19位：5時間45分38秒
第89回	2013年	優勝	11時間13分26秒 往路1位：5時間40分15秒 復路2位：5時間33分11秒

第89回箱根駅伝

総合優勝への軌跡

復活への覚悟

連続出場の中で初めての繰り上げ襷だった。大学名の入っていない襷で走る屈辱。19位は過去最低の結果である。「キャプテンは服部でいく。従えない4年生は辞めてくれ」ゴール後の大手町でのミーティングで別府監督が言った。4年生がキャプテンを務めるのが伝統であり、3年生の服部（翔大）が指名されたのは極めて異例のことだ（当時2年生）。覚悟を伝えたかったと別府監督は話す。その後も折に触れて「私に従えない者は辞めてくれ」と厳しい言い方をしたという。選手たちに本気で取り組むことを求め続けたのだ。辞める者は一人も出なかった。

春からは、兵庫県立西脇工業高校で長年監督を務めてきた渡辺公二氏がアドバイザーに加わった。例えば、練習前のグラウンド清掃、消灯時間の厳守の徹底など、練習はもちろん日常生活でも、あたりまえのことをあたりまえにできるようにすることが求められた。ついつい流してしまいがちなこと、人まかせにしがちなこと、つまり甘えや気の緩みを払拭することが狙いだった。

選手たちの意識が徐々に変わっていった。誰かが走るだろうという、そんな気持ちが消えていく。目標の一つであった全日本大学駅伝予選会では、一人ひとりが自分の役割を果たし、チームに貢献、例年にない好内容で予選会を通過した。夏合宿の直前に服部をはじめとする3年生の主力3人が故障で離脱すると、4年生がチームを引っ張った。12月20日以降、いわゆる箱根体制に入ると、例年は

登録選手とその他の選手が分かれて合宿、練習を行うが今年は合同練習を行った。故障者に対しても、駅伝当日までに少しでも走れる状態にしておくよう告げられた。結果、新年1月1日の朝練習にほぼ全員が合流する。チームの意識が最高潮に達する。

19位から1位へ、1年間でチームも選手たちも大きく変わった。戦う相手は自分である。そして、一人ひとりの情熱とプライドが襷を繋いでいく。こうして、勇者にふさわしい自信に満ちた走りが展開された。

全員駅伝で期待に応える

各区間の選手が期待通りの役目を果たした。その安定感は1年間の厳しい訓練に耐えた賜物だったのだろう。負いなく、着実に差を詰め、トップに躍り出ていった。

勝亦（1区）は落ち着いて先頭集団をとらえる。本田（2区）も堅実な走りを見せる。強風の中、山中（3区）は各校の主力選手が揃うこの区間で6位の健闘。木村（4区）は順位を2つ押上げ、服部（5区）へ繋ぐ。東洋、早稲田との三つ巴を制し、ついに独走体制となり、そのまま26年振りの往路優勝を手にした。

復路では、鈴木（6区）が後続の追撃を許さない好調なスタート。さらに差を広げ、6区日体大区間記録で襷を繋ぐ。高田（7区）は、箱根駅伝2度目の落ち着いた走り。区間賞に6秒と迫る好走。高柳（8区）は区間2位の走りで4年間の有終の美を飾るべくしつかり自分の役割を果



たす。そして、箱根駅伝3回目の矢野（9区）。過去2回（87回7区14位、88回3区13位）の悔しさを晴らす勢いで2位東洋との差をさらに広げる。谷永（10区）も攻めの走りを続けた。残り1キロ。後続との差は5分近くまで広がっていた。7区以降の4区は全区間2位という磐石の展開。谷永はガッツポーズを見せながら、68人の部員の待つゴールに飛び込んでいった。

自らも箱根駅伝で活躍した石井隆士陸上競技部部長（社会体育学科長教授）は、10区中間地点での谷永の表情とレース展開を確認し、エッサッサのスタンバイのための連絡をとる。

大手町で30年振りに披露されたエッサッサ。気迫に満ち

ていた。集まったオール日体大の面々が、心一つに喜びを味わった。

治道では、例年以上に日体大の白い幟が目立った。特に戸塚・鶴見間の横浜市は日体大の地元である。後日行われた青葉台駅から健志台キャンパスまでの優勝パレードには、警察発表で3万5千人もの方々が駆けつけてくださった。

他校のアクシデントの中、想定通り何事もなく走り抜いた結果、気がついたらトップに立っていたと冷静に振り返る別府監督。今年も、準備練習や日々の生活を本気になって100%まで追求していくと力強く語る。90回大会も期待に応えてくれることを確信する。

※本文・データ中の学年は大会当時のものです。

第89回 箱根駅伝結果

	区間	区間順位	選手	学年	出身校（出身地）	記録	チーム順位
往 路	1区	7位	勝亦 祐太	1年	西脇工業（静岡）	1時間04分07秒	7位
	2区	4位	本田 匠	3年	九州学院（熊本）	1時間10分47秒	3位
	3区	6位	山中 秀仁	1年	興國（大阪）	1時間06分30秒	4位
	4区	5位	木村 勇貴	2年	西京（山口）	58分16秒	2位
	5区	1位	服部 翔大	3年	埼玉栄（埼玉）	1時間20分35秒	1位
復 路	6区	7位	鈴木 悠介	3年	藤沢翔陵（神奈川）	59分33秒	1位
	7区	2位	高田 翔二	4年	藤枝明誠（静岡）	1時間04分53秒	1位
	8区	2位	高柳 祐也	4年	埼玉栄（埼玉）	1時間07分03秒	1位
	9区	2位	矢野 圭吾	3年	佐久長聖（長野）	1時間10分26秒	1位
	10区	2位	谷永 雄一	4年	出水中央（熊本）	1時間11分16秒	1位



襷を担う若き獅子たちに エールを送ろう!



べっぶ けんじ
別府 健至
監督

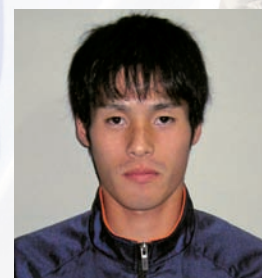
連覇を目指し、昨年同様それぞれが自分に徹していききたいと思います。
また、結果以上に応援したくなるようなレース内容・姿勢で臨みます。
ご声援宜しくお願いします。

【別府監督プロフィール】西脇工高では、1年生で全国高校駅伝にアンカーとして出場、初優勝。日体大では、全日本大学駅伝で6区(2年)、7区アンカー(3年)、8区アンカー(4年)を走り3年連続区間賞を獲得、3連覇に貢献。箱根は、9区3位(2年)、8区2位(3年)、4区2位(4年)と、常に上位の安定した成績を残す。日体大卒業後はNECに進み、選手、コーチを経て、99年、日体大駅伝監督に就任。

- ①学部学科
- ②高校名・出身高校県
- ③身長/体重
- ④10,000m記録
- ⑤駅伝にかける思い



山中 秀仁
(ヤマナカ ヒデト)
①体育学部体育学科2年
②興國・大阪府
③168cm/51kg
④28.26.03
⑤チーム全員が
一致団結してのぞむ!



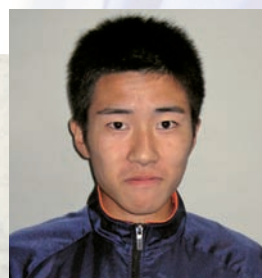
富田 祥平
(トミタ ショウヘイ)
①体育学部体育学科3年
②西脇工業・兵庫県
③172cm/59kg
④29.39.17
⑤チーム全員で頑張ります。



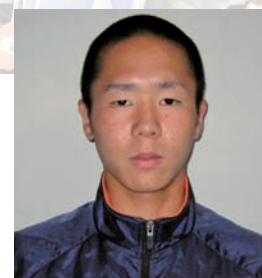
本田 匠
(ホンダ タクミ)
①体育学部体育学科4年
②九州学院・熊本県
③162cm/51kg
④28.46.38
⑤大学最後の駅伝頑張ります。



服部 翔大
(ハットリ ショウタ)
①体育学部体育学科4年
②埼玉栄・埼玉県
③164cm/52kg
④28.22.79
⑤頑張って



秋山 清仁
(アキヤマ キョウト)
①体育学部体育学科1年
②順天・東京都
③169cm/55kg
④30.18.60
⑤日体大の襷をかけて
勝ちにこだわって走る。



奥野 翔弥
(オクノ ショウヤ)
①体育学部体育学科2年
②豊川工業・静岡県
③165cm/54kg
④29.21.13
⑤走るからにはその時の1番の
ベストパフォーマンスをして
チームに貢献



矢野 圭吾
(ヤノ ケイゴ)
①体育学部体育学科4年
②佐久長聖・長野県
③172cm/56kg
④28.47.79
⑤最後の箱根駅伝で最高の
結果を残せるよう頑張ります。



石若 大武
(イシワカ ヒロム)
①体育学部体育学科4年
②西脇工業・兵庫県
③175.5cm/58kg
④29.45.00
⑤大学最後の駅伝。今までの
思いを全てぶつけます。



坂本 新
(サカモト ハジメ)
①体育学部体育学科1年
②九州学院・熊本県
③167cm/56kg
④29.27.25
⑤チームのために自分の
できることをしっかりやる。



勝亦 祐太
(カツマタ ユウタ)
①体育学部体育学科2年
②西脇工業・兵庫県
③167cm/52kg
④29.08.01
⑤頑張ります。



加藤 光
(カトウ ヒカル)
①体育学部体育学科3年
②東北・宮城県
③175cm/58kg
④29.23.63
⑤応援してください
人たちのために頑張ります。



甲斐 翔太
(カイ ショウタ)
①体育学部体育学科4年
②大牟田・福岡県
③169cm/56kg
④29.24.79
⑤応援してくださいの方のために
精一杯頑張ります。



山本 航平
(ヤマモト コウヘイ)
①体育学部体育学科1年
②八幡浜・愛媛県
③174cm/59kg
④30.14.00
⑤やらねば



小泉 雄輝
(コイズミ ヨシキ)
①体育学部体育学科2年
②藤沢翔陵・神奈川県
③165cm/53kg
④29.35.59
⑤自分のやるべきことを
やる。



木村 勇貴
(キムラ ユウキ)
①体育学部体育学科3年
②西京・山口
③172cm/54kg
④29.15.39
⑤流れをつくる!!



鈴木 悠介
(スズキ ユウスケ)
①体育学部体育学科4年
②藤沢翔陵・神奈川県
③172cm/57kg
④29.01.80
⑤勝つ



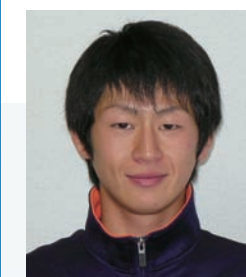
高橋 拓夢
(タカハシ タクム)
(主務)
①体育学部体育学科4年
②洛南・京都府
⑤学生として最後の
箱根駅伝。
最高の結果で終えたい。



周防 俊也
(スオウ シュンヤ)
①体育学部体育学科2年
②東農大二・群馬県
③164cm/53kg
④29.34.21
⑤野心を持って走る。



滝沢 優也
(タキサワ ユウヤ)
①体育学部体育学科3年
②篠ノ井・長野県
③168cm/54kg
④29.55.00
⑤ベストを尽くします!



中根 奨貴
(ナカネ ショウキ)
①体育学部体育学科4年
②西京・山口県
③172cm/57kg
④31.29.00
⑤とにかく応援してくれている
人のために走りたい!

『出雲駅伝』10月14日

全国8地区の選考会を勝ち上がった代表校など計22チームが出場した出雲駅伝。日本体育大学は3位でフィニッシュし、来年のシード権を獲得した。優勝したのは駒澤大学。2位は東洋大学、日本体育大学はそれに続く3位となり、11月に控える全日本大学駅伝に繋がる走りとなった。(総合記録:2時間10分59秒)



選手と地元応援団で記念撮影



ゴールテープを切る6区矢野選手

『全日本大学駅伝』11月3日

熱田神宮から伊勢神宮までの106.8キロ、8区間のコースを全国8地区の予選を勝ち抜いた19大学と前大会でシード権を得た6大学、そしてオープン参加の東海学生陸上競技連盟選抜チームを加えた全26チームが出場した全日本大学駅伝。日体大は8位でフィニッシュし、2区走者の山中秀仁が区間賞を獲得した。(総合記録:5時間23分26秒)



区間賞の走りを見せた山中選手



選手と地元応援団で記念撮影

応援の注意

応援にあたっての禁止事項

以下の禁止事項については、違反が繰り返されたり、悪質であったりする場合、大会出場の停止、シード権の剥奪、補助金の支給停止をはじめとする相応の罰則が与えられることもありますのであらかじめご了承ください。

- (1) 自動車、自動二輪車、自転車などの車両による応援はできません。
- (2) スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100m以内では校旗、部旗、大学名あるいは校章などを表示する幕、板、旗などの掲出・掲示はできません。
- (3) 警視庁、神奈川県警察本部から関東学生陸上競技連盟に出されている道路使用条件に違反する行為はご遠慮ください。
(例:大学のノボリ旗をガードレールに固定して掲出する等)
- (4) 大学並びにその関係者が、当駅伝競走ならびに周辺の一般人に対する迷惑行為はしない、又はさせないようにしてください。
- (5) 「箱根駅伝の名称利用」の内容に合致する場合あるいは、関東学生陸上競技連盟が事前に許諾した場合を除き、「箱根駅伝」の名称あるいは大会の様子を撮影した写真などは、大学あるいは関係団体などの宣伝・広告には使用できません。第3者が発行あるいは放送・上映する媒体については関東学生陸上競技連盟の許諾が必要となります。

駅伝応援特設サイト開設

駅伝応援特設サイトでは、箱根駅伝をはじめとする各大会の模様や応援に役立つ情報を発信しています。ブログのライブな情報も要チェック! 応援メッセージもお待ちしています。



<http://www.nittai.ac.jp/ekiden2013/index.html>

応援グッズ

伸縮式で
持ち運びに便利

選手たちに熱いエールを送っていただくために、「のぼり旗」を大学で用意しています。事前配布、また当日、各応援ポイントでも配布しています。



事前配布場所: 東京・世田谷キャンパス企画部広報課
横浜・健志台キャンパス学生支援センター
(なくなり次第終了します。詳しくは駅伝応援サイトを確認ください。)